

議会 だより



こがし
古河市

第 **82** 号

令和6年12月1日

編集／議会だより編集委員会

発行／古河市議会

ホームページ

古河市議会

検 索



古河三大 にぎわいをみせた秋祭り

古河関東ド・マンナカ祭り

クリスマスキャンドルを作ったよ！

(古河関東ド・マンナカ祭り エコ倶楽部 桃花 ブースにて)

古河よかんべまつり



さんさんまつり



令和6年 第3回定例会 開催

第3回定例会は9月4日から9月20日までの会期17日間で開かれ、諮問3件、認定1件、報告14件、議案21件、決算認定11件について審議しました。9月11日、12日の2日間にわたり、一般会計決算特別委員会において一般会計を審査し、9月13日の特別会計・企業会計決算特別委員会において、8特別会計および水道事業会計、下水道事業会計の決算を審査しました。

一般質問は9月17日、18日、19日の3日間行われ14人の議員が登壇しました。また、最終日に議員提出議案1件が追加されました。請願1件、陳情2件については、4ページの請願・陳情一覧表のとおりとなりました。

令和 6 年第 3 回定例会 議決一覧表

議案等番号	件 名	議決日	議決結果
諮問第 3 号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	6.9.4	同 意
諮問第 4 号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	6.9.4	同 意
諮問第 5 号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	6.9.4	同 意
認定第 9 号	令和 6 年度古河市一般会計補正予算（第 3 号）の専決処分の報告及び承認を求めることについて	6.9.4	承 認
議案第 91 号	古河市職員の分限に関する条例の一部改正について	6.9.20	原案可決
議案第 92 号	古河市条件付採用期間中の職員及び臨時的に任用された職員の分限に関する条例の制定について	6.9.20	原案可決
議案第 93 号	古河市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	6.9.20	原案可決
議案第 94 号	古河市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	6.9.20	原案可決
議案第 95 号	古河市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	6.9.20	原案可決
議案第 96 号	古河市国民健康保険条例の一部改正について	6.9.20	原案可決
議案第 97 号	茨城租税債権管理機構規約の変更について	6.9.20	原案可決
議案第 98 号	訴えの提起について	6.9.20	原案可決
議案第 99 号	市道の路線廃止について	6.9.20	原案可決
議案第 100 号	市道の路線認定について	6.9.20	原案可決
議案第 101 号	令和 5 年度古河市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	6.9.20	原案可決
議案第 102 号	令和 5 年度古河市下水道事業会計資本剰余金の処分について	6.9.20	原案可決
議案第 103 号	令和 6 年度古河市一般会計補正予算（第 4 号）	6.9.20	原案可決
議案第 104 号	令和 6 年度古河市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第 2 号）	6.9.20	原案可決
議案第 105 号	令和 6 年度古河市古河福祉の森診療所特別会計補正予算（第 1 号）	6.9.20	原案可決
議案第 106 号	令和 6 年度古河市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	6.9.20	原案可決

議案等番号	件 名	議決日	議決結果
議案第107号	令和6年度古河市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第2号）	6.9.20	原案可決
議案第108号	令和6年度古河市ゴルフ場事業特別会計補正予算（第1号）	6.9.20	原案可決
議案第109号	令和6年度古河市古河駅東部土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	6.9.20	原案可決
議案第110号	令和6年度古河市水道事業会計補正予算（第1号）	6.9.20	原案可決
議案第111号	令和6年度古河市下水道事業会計補正予算（第1号）	6.9.20	原案可決
認定第10号	令和5年度古河市一般会計歳入歳出決算認定について	6.9.20	認 定
認定第11号	令和5年度古河市国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算認定について	6.9.20	認 定
認定第12号	令和5年度古河市古河福祉の森診療所特別会計歳入歳出決算認定について	6.9.20	認 定
認定第13号	令和5年度古河市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	6.9.20	認 定
認定第14号	令和5年度古河市介護保険特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算認定について	6.9.20	認 定
認定第15号	令和5年度古河市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	6.9.20	認 定
認定第16号	令和5年度古河市ゴルフ場事業特別会計歳入歳出決算認定について	6.9.20	認 定
認定第17号	令和5年度古河市古河駅東部土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	6.9.20	認 定
認定第18号	令和5年度古河市公共用地先行取得特別会計歳入歳出決算認定について	6.9.20	認 定
認定第19号	令和5年度古河市水道事業会計決算認定について	6.9.20	認 定
認定第20号	令和5年度古河市下水道事業会計決算認定について	6.9.20	認 定
議員提出 議案第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書	6.9.20	原案可決
動議	赤坂育男議長に対する不信任動議	6.9.4	否 決

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

請願・陳情一覧表

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
令和 6 年 請願第 4 号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	文教厚生常任委員会	採 択
令和 6 年 陳情第 4 号	身内の不幸を物体扱いと架す法律「死体埋葬許可証」!! 故に故人の尊厳、御遺族の哀悼に寄り添う「御遺体納骨許可証」に名称変更請願を国に求める旨を、職務を果たさんとする市会議員に陳情とす。	文教厚生常任委員会	不 採 択
令和 6 年 陳情第 5 号	家族同様と言われる犬猫たちの最後を“廃棄物扱い”とせず、命ある生き物としての扱いに名称変更を職務を果たさんとする市会議員に陳情とす。	総 務 常 任 委 員 会	継続審査

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

賛否の分かれた議案等

○賛成、×反対

議案等番号	政友会								古河市 公明党				市民ベース の会				真政会				無党派			
	佐藤 泉	小森谷博之	鈴木 務	小林登美子	印出 慎也	赤坂 育男	鈴木 隆	渡邊 澄夫	高橋 秀彰	佐藤 稔	鶴見久美子	佐々木英徳	増田 悟	落合 康之	阿久津佳子	立川 徹	黒川 輝男	園部 増治	青木 和夫	稲葉 貴大	関口 和男	古川 一美	秋庭 繁	
議案第 96 号			○			－		○			○				○				○			○	○	×
議案第 97 号			○			－		○			○		×		○				○			○	○	×
認定第 10 号 認定第 11 号			○			－		○			○				○				○			○	○	×
認定第 13 号 から第 17 号			○			－		○			○				○				○			○	○	×
認定第 19 号 認定第 20 号			○			－		○			○				○				○			○	○	×
令和 6 年 陳情第 4 号			×			－		×			×			○		×			×			×	○	○
動議			×			退		×			○		×		－		×		○			×	○	×

※議長は表決に加わらないため「—」と表示。 ※退席議員は「退」と表示。
※動議については議長に対する動議で、議長は退席し副議長進行となることにより、副議長は表決に加わらないため「—」と表示。

動議「赤坂育男議長に対する不信任動議」

令和 6 年第 3 回定例会初日に、赤坂育男議長に対する不信任動議が園部増治議員ほか 3 名より提出され、本会議にて否決されました。



CHECK!

令和 5 年度決算

古河市のお金の使い方を審査しました

9 月 11 日、12 日、13 日の 3 日間にわたり、正副議長および議会選出監査委員を除いた全議員が一般会計決算特別委員会、特別会計・企業会計決算特別委員会に分かれ、一般会計、8 特別会計および水道事業会計・下水道事業会計の決算を審査しました。

各会計の決算額

各会計の決算額		歳入	歳出
一般会計		593 億 8,465 万 8,388 円	563 億 8,754 万 7,651 円
特別会計			
国 民 健 康 保 険（事 業 勘 定）		139 億 4,303 万 3,720 円	139 億 4,303 万 2,838 円
古 河 福 祉 の 森 診 療 所		1 億 1,374 万 9,573 円	1 億 1,267 万 9,353 円
後 期 高 齢 者 医 療		18 億 2,244 万 4,959 円	18 億 2,146 万 8,698 円
介 護 保 険（保 険 事 業 勘 定）		113 億 2,842 万 9,649 円	111 億 8,985 万 4,816 円
農 業 集 落 排 水 事 業		5 億 9,947 万 9,065 円	5 億 9,334 万 6,569 円
ゴ ル フ 場 事 業		9,196 万 7,734 円	8,273 万 7,610 円
古 河 駅 東 部 土 地 区 画 整 理 事 業		27 億 8,963 万 3,480 円	27 億 1,576 万 5,507 円
公 共 用 地 先 行 取 得		1,083 万 6,626 円	1,083 万 6,626 円
		収入	支出
企業会計			
水 道 事 業 会 計	収益的収支	27 億 3,939 万 9,512 円	23 億 8,703 万 2,326 円
	資本的収支	6 億 6,366 万 432 円	16 億 2,182 万 9,473 円
下 水 道 事 業 会 計	収益的収支	32 億 6,881 万 8,852 円	32 億 922 万 2,808 円
	資本的収支	12 億 3,366 万 481 円	21 億 6,692 万 5,745 円

水道事業の概要

	令和 5 年度末
給水戸数	62,700 戸
給水人口	137,033 人
給水普及率	96.0%
総給水量	17,031,371m ³
有収水量	14,182,099m ³
有収率	83.3%

下水道事業の概要

	令和 5 年度末
処理区域内戸数	39,983 戸
処理区域内人口	86,098 人
普及率	61.4%
汚水処理水量	11,267,866m ³
有収水量	7,883,982m ³
有収率	70.0%

令和5年度決算に対する各会派の意見

政友会

一般会計の予算執行率は、92.9%で昨年93.8%をおおむね維持したことは評価できる。道の駅へ大型遊具やウッドデッキの整備、ヘルメット購入費の一部助成、タクシー運賃を助成する「ふくとくチケット」の交付等を実施しており、今後も積極的な施策展開を期待する。

佐藤 泉	小森谷博之
鈴木 務	小林登美子
印出 慎也	赤坂 育男
鈴木 隆	渡邊 澄夫

古河市公明党

一般会計の実質収支は23億4,219万円の黒字である。市は公共施設老朽化に伴う、費用の増大などの課題に直面している。今後は、市民サービスの維持向上のため、公共施設の最適化を進めるとともに、自主財源確保に向け、産業振興等の積極的な施策展開を望む。

高橋 秀彰	佐藤 稔
轟見久美子	佐々木英徳

市民ベースの会

監査委員の昨年度意見に対し措置を行った結果、予算執行率は92.9%であるが、不用額や土地借上料等のFM管理に課題が残る。依然続く物価高騰対策として給食費無償化の協議を行い、各施策・事業推進の分析調査および行程管理と健全運営可能な予算化を期待する。

増田 悟	落合 康之
阿久津佳子	立川 徹

真政会

おおむね良好に事業が進行され、住民福祉の向上に寄与されていた。特に、東山田・谷貝地区における産業用地開発事業は、民間事業者の協力もあり、異例の早さで完売したことは高く評価できる。今後も、市民が希望を持てるような予算の執行に期待する。

黒川 輝男	園部 増治
青木 和夫	稲葉 貴大

会派に属さない議員

令和5年度決算はおおむね適正と認めるが、安心安全な市民生活最優先を目指し、インフラ、通学路等のさらなる整備促進を求める。

上下水道、道路等のインフラ老朽化対策が課題。事業評価等による歳出削減、財政確保に努め、安心安全な街づくりをさらに求める。

財政調整基金と減債基金が60億円以上あるのに子育て、福祉等を削減、市民生活応援は小出し、開発優先でコンサル任せの決算であり、賛成できない。

関口 和男

古川 一美

秋庭 繁

第3回定例会 一般質問

14人の議員が市政を問う



印出 慎也 議員



古河市子育て拠点施設西側敷地について

問 当該地は平成23年に日本赤十字社から病院新築の際に取得し、現状では約13年間除草管理を行うだけの未利用地である。

①これまでの経過を伺う。②売却した場合の固定資産税の金額を伺う。その税収がないことは機会損失と考えるが、市の見解を伺う。③これまでどのように有効活用していたか。また利用が決定するまでの間、貸し付け

※FM…ファシリティマネジメント（公共施設等の総合的な管理および活用に関する取り組み）

等により有効活用し、財源を確保すべきと考えるが、市の見解を伺う。④今後の利用計画を伺う。具体的に決定していない場合、早期に売却すべきと考えるが、市の見解を伺う。

答（市長） ④古河警察署の移転等で当該地の利用価値は高まることから、周辺環境の整備と専門部会での検討状況を見極め、子育て拠点施設に限定せず利活用方針を定めていく。

答（財政部長） ②令和6年度分とすると133万8,000円である。これまで民間活力を生かした子育て拠点施設の整備を進めてきたところで、必ずしも損失だと認識していない。③暫定的に貸し付ける考えはなく、利活用方

針の早期決定に注力したい。

答（福祉部長） ①令和元年に公募を行ったが、参加表明する事業者はなく、その後決定した優先交渉事業者からも辞退があった。令和5年度には福祉部門での利活用は困難と考え、FM^(※)会議において再検討する方向となった。③敷地の一部を臨時駐車場として使用した。



古河市子育て拠点施設西側敷地

《その他の質問》

- ・老人福祉センター廃止について
- ・オーバードーズ対策について



小林 登美子 議員



まちづくりについて

問 ①市内企業の雇用状況と応募状況、市民の採用割合、②企業内訓練校について、③市内企業の魅力や、地域貢献策等の発信から新たなまちづくりに結び付けられないか、以上を伺う。

答（産業部長） ①工業会員企業の令和6年3月卒の高等学校卒業採用者数は160人、令和7年3月卒業予定者の就職希望者数

は253人、採用割合は把握していない。②市内には無いが、日野工業高等学園が卒業後に古河工場へ配属希望できるため、市内中学生へ入学案内をしている。③市公式YouTubeで企業PR動画の配信や、小学生向けの工場見学の実施など企業の魅力を発信している。地域貢献策等については、市の広報等で周知し、まちづくりにつなげている。

古河市の台風等への防災対策について

問 ①地域防災訓練や図上訓練等の活動について、②水害時の避難で力を入れている点、③市内企業との災害協定の状況、④今後、災害協定等が予定されているものはあるか、以上を伺う。

答（総務部長兼危機管理監） ①6月30日に水害時における自家用車等による避難訓練、8月7日に警察など関係者も含めて台風被害を想定した図上訓練を行い、有事への対応能力の向上を図った。②車での避難に対し早めの避難行動開始の啓発と、マイ・タイムライン作成の普及を進めている。③車中避難先確保のため、日野自動車株式会社と協定の調整をしている。④茨城県行政書士会などさまざまな分野での新規協定締結を進める。



8月7日に行われた図上訓練の様子



小森谷 博之 議員



防災対策について

問 イーエスはなもも体育館周辺の冠水対策の状況を伺う。

答（都市建設部長） 通行者が冠水状況を直ちに視認し、危険を回避できるよう水位計を設置した。議員の提案を踏まえ、夜間でも視認性が高い水位計への交換または増設などもしていきたい。今後も、ゲリラ豪雨などの発生に備え、精度の高い気象情報を活用し、対策に取り組む。

農業政策について

問 令和5年4月には地域計画が義務付けられ、これから半年で各地域において合意形成がなされるのかは心配なところである。期限が決まっているので、計画ありき、さらに見直しありきとはせず、10年後の古河市の農地を少しでも残すために、地域全体で取り組めるよう行政主導でお願いしたい。



答（産業部長） 地域の農業について意見を交わすためには、細

かな範囲での座談会の開催が必要と考える。より多くの方が参加し、多様な意見をいただく場となるよう努めていきたい。

空き家について

問 空家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正があった。その中で空家等管理活用支援法人の指定があり、対応が求められているが、市としての対応について伺う。

答（都市建設部長） 支援法人は市町村の人員不足、専門的な知識不足を補う役割が大きい。指定については、個人情報取り扱いもあるため、実績のある団体等を慎重に検討していく。



鈴木 務 議員



未来産業用地開発事業について

問 東山田・谷貝地区は54.5ヘクタールが重点促進区域に指定され、未来産業用地として21ヘクタールが4社と契約し開発途上である。①進捗状況、②延伸計画の方向性、以上を伺う。

答（市長） ②企業立地に優れ、新たな産業用地創出のため、継続して取り組むべきである。

答（企画政策部長） ①土地の造成に向け協議している。

森林環境税について

問 本年度より森林環境税年額千円が課税され、5年前から森林環境譲与税が各自治体に配られている。①森林環境税と森林環境譲与税の趣旨、②これまでの事業展開および今後の方向性、以上を伺う。



森林環境譲与税を活用し設置された木製パーゴラ（サンワ設計ネーブルパーク）

答（産業部長） ①適切な森林整備や、パリ協定の目標達成のため創設された。②令和5年度、

サンワ設計ネーブルパークにて木製パーゴラの設置費用として使われた。今後も木材の利用促進などへ活用できるよう努める。

森林湖沼環境税について

問 県独自事業として平成20年より年額千円が課税されている。この税収を活用した、身近なみどり整備推進事業費が激減している状況と今後の方向性を伺う。

答（産業部長） 令和3年度で県の補助金が終了したことにより、事業費は減少している。森林整備計画に基づき、平地林の保全等に努め、他自治体を参考にし検証していく。



佐々木 英徳 議員



英語教育について

問 岡山県奈義町^{なぎちょう}では、英語教育の効果もあり、出生率が2.95%上昇している。まさに英語教育によるまちづくりである。グローバル化が進む現代において、子どもたちが異文化の人々と気後れせずコミュニケーションを取れるようになるための重要な取り組みである。教育長の考えを伺う。

答（教育長） 市在住の外国人の

増加により、英語のコミュニケーション能力は重要さを増している。本年度から中学校で導入した、ジョイタイムというオンライン英会話プログラムは生徒の関心が高く、次年度は小学校まで導入の対象を拡大するなど充実させていく。児童生徒の英会話力の向上を目指すとともに、英語学習が好きになるような取り組みを推進していく。



地方就職学生支援事業について

問 若者の移住定住は地域の活

力向上や経済活動の活発化、人口減少の抑制に寄与し、持続可能な地域社会の形成に重要である。古河市でも、若者のU・I・Jターンを促進するために、奨学金返還支援事業と地方就職学生支援事業の導入について伺う。

答（産業部長） 地方就職学生支援事業は県が実施しており、地方自治体による奨学金返還支援を要件としている。市独自の奨学金返還支援については、対象条件などの課題があり、導入に至っていない。市への定住、就職は大変重要な課題と認識しており、合同企業説明会など市内就職に向けた対策についても検証し、よりUターン就職に効果のある事業に取り組んでいく。



鶴見 久美子 議員



防災対策について

問 大規模災害時に必要不可欠となるのが避難所である。避難生活の中では、プライバシーや生活環境などに問題があり、女性や高齢者の声が届きにくいなどの意見がある。特に女性の視点は避難所運営にも影響が大きい。①防災担当や避難所運営等における女性職員の確保、②食料、女性や妊婦用、子どもや高齢者対応の備蓄品、③授乳服備蓄セットの導入、以上について

伺う。

答（総務部長兼危機管理監） ①本年度より防災所管内に1名配属した。避難所担当の女性職員を全体の4割とする目標を掲げており、今後も女性職員の継続的な配属を考えていく。②水や食料、女性の生理用品、哺乳瓶、離乳食と高齢者向けであるかゆのレトルトパックを備蓄している。③授乳に供するスペースがなくとも、その場で授乳できるものなので導入の参考にする。

児童生徒の健康について

問 子どもたちの成長を見守る大事な健康診断を不登校の児童生徒は受けられない。①不登校の児童生徒への対応、②吹田市の学校外で健康診断が受けられ

る取り組みについて課題と所見、以上について伺う。

答（教育部長） ①学校医の医療機関で直接受診するよう、保護者へ連絡している。この場合、受診に係る保護者負担はない。②受診するかの最終判断は保護者に一任しており、結果、児童生徒の受診率が100%に達しない状況である。吹田市など他自治体の事例を参考に、未受診者をなくすためにも、受診しやすくなる環境づくりに努めたい。





高橋 秀彰 議員



フューチャーデザインの積極的な活用について

問 フューチャーデザインは、政策形成にあたり、現代に生きる人々（現在世代）のみならず、まだ生まれていない将来に生きる人々（仮想将来世代）をも利害関係者として捉え、仮想将来世代と現在世代の双方の視点で考えることで、解決方法を見いだすものである。この手法により、将来の目的やビジョンについて、その将来像から逆算して現時点からの必要な行動や戦略

を考え、持続可能なまちづくりに向け、具体的で効果的な行動計画を策定することは、大変に有意義と考える。今後、フューチャーデザインの積極的な活用が必要と考えるがどうか。

答（副市長） 人口減少社会における政策立案のプロセスは、将来世代から見た長期的な視点が重要となる。国よりSDGs未来都市に認定されたこともあり、フューチャーデザインの考え方を活用しながら、SDGs達成に向けた取り組みを加速させていく。

答（企画政策部長） 岩手県矢巾町^{やはば}では、フューチャーデザイン^{ちよう}手法を活用し市民と対話した結果、水道料金の値下げという私的利益を求めるのではなく、老

朽管の更新に係る将来世代の負担を考慮し、値上げするという公共の利益が選択された。この事例は参考になる点も多く、今後、具体的な活用に向けて情報収集や研究を進めていきたい。



《その他の質問》

- ・カスタマーハラスメント対策について



佐藤 稔 議員



「新しい認知症観の啓発で共に支え合う社会の構築」について

問 誰もが認知症に成り得ると言う認識と、新しい認知症観の啓発のもと、児童生徒から地域の企業・団体および自治会等と連携し、認知症サポーター養成講座のさらなる展開とケア技法「ユマニチュード」(*)の習得等が必要と考えるが市の考えを伺う。

を認知症の人にもやさしいお店として登録している。認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、ケア技法「ユマニチュード」の考え方も参考にし、情報発信や新しい認知症観の普及啓発を図り、一人一人が自分事として捉え、認知症の人に寄り添った支援が行えるよう取り組んでいく。



ユマニチュード4つの柱

パッカー車や廃棄物処理施設でリチウム蓄電池に起因すると思われる発火事故が多発している。回収作業員や処理施設の安全を守るためにも、明確な分別の周知・広報のもと、拠点回収が必要と考えるが市の考えを伺う。

答（市民部長） 現在、リチウム蓄電池専用の回収ボックスを市内全域で同時に設置する方向で考えている。不適切なごみ分別が原因で、火災事故等につながる危険性があることを周知、啓発していくことが課題と考える。

答（福祉部長） 認知症サポーター養成講座を学校や企業、自治会等へ実施し、受講された企業等

※ユマニチュード…「人間らしさを取り戻す」ことを意味するフランス語で、フランス発祥の認知症のケア技法のこと。

「リチウム蓄電池の拠点回収」について

問 廃棄物処理作業において、

《その他の質問》

- ・「マイナ保険証」の普及と利用促進について



立川 徹 議員



防災について

問 ①市民団体等が開催する防災事業の取り組み状況と古河市との関わりについて、②災害時の協力体制の在り方について、③防災教育への取り組み状況と今後の展開について伺う。

答（総務部長兼危機管理監） ①自治会等で防災訓練などを行っている。市では、防災に関する相談や団体のニーズに合わせた支援を実施している。②必要な

※1 古河市文化財保護条例 ※2 古河市文化財保存補助金交付要綱

支援が受けられるよう、特に水害時の避難先確保を重視して協定の新規締結を進めている。

答（教育部長） ③さまざまな教科で地域の地理等の理解を深め、防災意識を高めている。今後は、想像力ゲームといった体験的な防災教育を推進していきたい。

古河市に関わる不動産（土地・建物）、工作物の利活用について

問 ①古河駅周辺における現状の所見と、理想とする在り方について、②利用料を不要とする施設の管理方法などの現状について、③指定文化財の管理方法や補助制度について、④活用されていない市所有の不動産の現状について伺う。

答（市長） ①駅前の空洞化が懸

念される。駅周辺のにぎわい創出が、市のイメージアップにもなるため、官民連携を含めて強く取り組んでいきたい。

答（教育部長） ②限られた予算を有効に使い、利用者の安心安全を第一に修繕している。③条例（※1）で所有者の管理が定められており、要綱（※2）に基づき修理費等の一部に補助金を交付できる。

答（財政部長） ④施設の廃止により売却等の検討を要するものや、雑草処理など管理のみの財産もある。



古河駅周辺における現状（西口）



阿久津 佳子 議員



公職選挙の投票環境向上について

問 ①合理的配慮の観点から投票所の現況、②投票は政治参加かつ民主主義の根幹であり、高齢者、障がいのある人および若い世代の参加格差を縮小する制度設計が鍵となる。低迷化する投票率をどのように解消するのか、以上について伺う。

答（選挙管理委員会書記長） ①段差解消ができていない所があり、全ての有権者が投票しやすい

い環境とは言えないのが現状である。②つくば市で取り組んでいるオンデマンド型移動期日前投票や期日前投票用タクシー助成券交付事業は、課題解決の一つと考える。まずは、市内高等学校等へ巡回する移動期日前投票の実施に向け準備し、拡充できるか協議していきたい。



公職選挙投票箱

可燃ごみの有料化について

問 ①有料指定ごみ袋価格は上位法と整合性は取れたのか、②

令和8年4月以降、市内全域で可燃ごみ有料化開始は不変なのか。条例制定、事務協議や住民説明等の課題がある。市長が考える導入時期や価格設定、以上について伺う。

答（市長） ②有料化により市民のごみに対する排出抑制意欲や分別に意識が高まれば、環境負荷の低減に大きく寄与できる。将来世代のために今、取り組まなくてはならないと考える。価格設定については、他自治体の事例等を参考に研究していく。

答（市民部長） ①さしま環境管理事務組合で公正取引委員会に確認中である。②令和8年4月1日の開始を目標に進めている。市民生活への混乱を最小限にできるよう努力をしていく。



増田 悟 議員

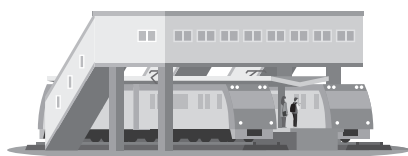


針谷市長の2期8年間の公約について

問 古河駅東部土地区画整理事業については、市長の任期中に完了させる予定であったと思う。2期目が終わろうとしているが、市長の考えを伺う。南古河駅設置についても公約であったと思うが、この問題についても伺う。

答（市長） 古河駅東部土地区画整理事業の課題は多いが、任期中は早期完成を目指してきた。10月より商業施設が順次オープン

するなど、着実にまちづくりが進んでいる。今後も残事業の効率的な事業計画や、確実な財源確保に努め、一日も早い完成に向けて頑張っていきたい。南古河駅周辺事業について、本線の駅を造ることは非常に大変だが、大きな期待を感じており、あらゆる可能性を探りながら、今後も取り組みたい。



針谷市長の退職金について

問 住民市政採点について、つくば市の市長は市政運営に対する市民の評価を自身の退職金に

反映させる方針を明らかにした。市長給料に関する特別条例案を市議会の9月定例会に提出するとあった。市運営のアプリを使って100点満点で採点してもらい、平均点の割合を乗じて算出する。こうした取り組みについて市長の考えを伺う。

答（市長） つくば市議会にて審議中で、10月4日の本会議において、方向性が決定する状況である。インターネットを活用した投票は、より多くの方が政治参加できるツールとして、非常に有効であるが、まだどこも実施しておらず、不安感が残る。先進事例を十分参考にして、古河市でできるものは一つずつ取り入れていきたい。



関口 和男 議員



旧優性保護法^(※)について

問 非人道的な制度であり、全国で訴訟が続いている。政治に携わる者として看過できない。①市長の所見、②本市の現状と対応、以上について伺う。

答（市長） ①自治体はしっかりと被害者に寄り添い、早期解決していくことが重要である。

答（福祉部長） ②被害を訴える方等からの相談はない。問い合わせがあれば、こども家庭庁と

茨城県の相談窓口を案内する。

学校の安全管理について

問 ①他県で起きた水泳授業中での事故の状況、②本市で事故等の報告があるか、③本市ではどのような安全対策をしているのか、以上について伺う。

答（教育長） ③プールサイドの段差解消や危険箇所の補修を昨年度行った。また、複数の教員による監視や、習熟度別の指導で児童生徒が無理なく学習できるようにしている。

答（教育部長） ①本年7月、高知市の小学校4年生が中学校のプールで行われた水泳授業中に溺れて死亡した事故が起きた。②事故の報告は受けていない。

外来生物について

問 ①いばらきカミキリみっけ隊の概要と効果、②低学年児童への安全指導、以上について伺う。

答（市民部長） ①県主体の活動で、駆除した外来カミキリムシの成虫を市の環境課へ持ち込むと、10匹につき500円分のプリペイドカードと交換している。市の参加人数は延べ57人で、合計862匹が捕殺された。②無断で私有地に入らない、けがや事故に十分気を付けることなどをチラシ等で周知している。



茨城県 HPより

※旧優性保護法…遺伝性疾患や知的障がい、精神障がいなどがある人に対し、本人の同意なく不妊手術をすることを認める法律。



古川 一美 議員

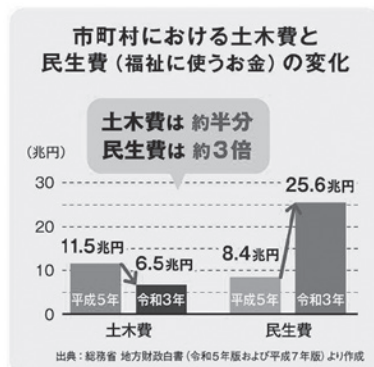


インフラの老朽化対策について

問 災害が多発する昨今、インフラ老朽化による被害拡大が全国的な問題である。社会保障費が増加し続け、インフラ補修の予算を圧迫しているのでは。各事業の効果を検証し、無駄を排除する改善が必要ではないか。

答（市長） 市民の安心安全のため、必要な事業の継続が重要である。インフラの老朽化問題では維持管理費を少なくするため、

予防保全への転換とメンテナンスサイクルの構築で、安心安全の確保とコスト縮減に努めたい。



道路の冠水対策について

問 対策が追いついていない現状を今後どう改善していくのか。

答（都市建設部長） 国土交通省の負担で浸水センサーの設置が可能な事業があり、動向を見極め参加の判断をしていきたい。

郷土愛を育む「ふるさと教育」について

問 地域の発展を担う人材育成や地方創生の視点からも地域資源を生かした「ふるさと教育」は重点施策と考える。①所見を伺う。②来春公開予定の鷹見泉石が題材の映画「SENSEKi」をどうPRし活用するのか。

答（市長） ①地域資源を活用し、学校、地域住民、地元企業や関係団体と連携することは、将来の古河市の発展につながる。②子どもたちの郷土愛を育むアイテムであり、市民へブランド戦略「こがくらす」を浸透させる方策であるとも考える。

答（教育長） ①未来の地元リーダーなどとして活躍する人材の育成が期待される。



秋庭 繁 議員



針谷市政の8年間「市民でなく針谷ファースト」だったのか

問 ①令和6年度の待機児童は0人だが、潜在的待機児童の数および公立保育所の正規職員数と会計年度職員数について②平成27年に児童館建設の計画概要まで公表した上辺見保育所西側活用策はどうなったか。③本年度だけの学校給食費無償化だが、古河第一から第七小学校の自校調理方式を民間委託すると数十億円かかる。引き受け手もなく不安だ。災害時にも必要な設備

の維持管理について伺う。

答（福祉部長） ①特定の保育園を希望しているなどの理由から、入所保留の児童は98人。公立保育所の正規職員は54人、会計年度職員は70人である。②当初の子育て支援の考えから方向転換し、民間活力で民間独自事業も導入しようと始まった。しかし、物価高などの影響で、平成30年度の検討段階では予想できなかった事態となり、なかなかうまくいかなかった。

答（教育部長） ③契約満了に伴う業者選定において、2者参加したが双方辞退した。やむなく現受託者との契約を1年間延長し、委託料は約1億300万円となる。災害時は、自校給食室など利用可能な設備は活用し、臨

機応変な対応が重要である。



中止になった児童館建設予定地（荒地地）

命の水と言われる水道施設の耐震化について

問 石綿管の布設替えの進捗状況、思川浄水場からの本管の耐震化計画と今後のスケジュール、水道の広域化について伺う。

答（上下水道部長） 石綿セメント管の更新は来年度完了予定である。その後、管路全体の更新計画を策定し、重要給水管路などを中心に耐震化する。広域化の連携について、10月発行の「みずT I M E S」に載せたい。



真室川町豪雨被害 見舞金

姉妹都市である山形県真室川町で、令和6年7月に発生した豪雨により被害に遭われた方々を支援するため、令和6年8月20日に開催された議員会での決定により、見舞金10万円を真室川町に贈呈しました。

心からのお見舞いを申し上げ、1日も早い復興をお祈りいたします。

議会生放送もご覧ください

古河ケーブルテレビで、議会の生放送をしています。古河ケーブルテレビに加入している方は、ぜひ、リアルタイムでの議会の様子をご覧ください。

○生放送される範囲

- ・定例会初日の開会から市長報告（施政方針）まで
- ・一般質問（代表質問）



◆◆◆ 令和6年 第4回定例会の会期予定 ◆◆◆

日	月	火	水	木	金	土
12/1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17 本会議 (開会)	18 本会議 (質疑)	19 総務常任委員会 産業建設常任委員会 文教厚生常任委員会	20 本会議 (一般質問)	21
22	23 本会議 (一般質問)	24 本会議 (閉会)	25	26	27	28
29	30	31				

○開催予定時間は午前10時です。

○産業建設常任委員会の開催時間は午前10時15分、
文教厚生常任委員会の開催時間は午後2時です。

※変更される場合もありますので議会事務局までお問い合わせください。

第3回定例会の傍聴者数

本会議	56人
委員会 (特別委員会含む)	1人
議場コンサート	25人
合計	82人
※傍聴者数は延べ人数	

議会の様子・会議録 を見てみよう！

古河市議会ホームページ、
または下記2次元コードから
ご覧になれます。



議会中継



会議録

編集後記

9月に開催された第3回定例会では、令和5年度一般会計、特別会計・企業会計決算や議案等の審議、一般質問が行われました。議会中継や会議録などは、右上の2次元コードから確認ができます。議会では、どのような思いや考えで質問や意見をしているのか、各議員の市政に対する姿勢を感じられると思います。市民の皆さまの議会への関心や期待に添えるような、親しまれる議会広報に今後も努めてまいります。

副委員長 立川 徹

【議会だより編集委員会】

委員長 印出 慎也
副委員長 立川 徹
委員 小林登美子 稲葉 貴大
鶴見久美子

古河市議会事務局
古河市長谷町 38 番 18 号
☎ 0280-22-5111 (代)